





7 [ 船の上で話しをする漁師と奈須少年 ]

ある日、漁師は、

「わらは、海がほんじゃまこち好きだね。」

といいながら、カツオ釣りの話をするのでした。

「カツオを釣るには、まず海鳥<sup>うみどり</sup>を発見するんじゃ。」

すると奈須少年が、

「そりゃ、なして？」というと、

漁師は、

「それはの、カツオと海鳥の餌<sup>えき</sup>が同じじゃからよ。

海鳥が多いときは、カツオも多いんじゃじー。」と答えました。

西村 澄玲







8 [ 門川の港に上がったクジラを見入る奈須少年 ]

また、門川の港にはよくクジラが水揚げされました。  
奈須少年が、クジラをはじめてみたのは、小学2年生のときでした。

港に上がったクジラをみて、ビックリです。

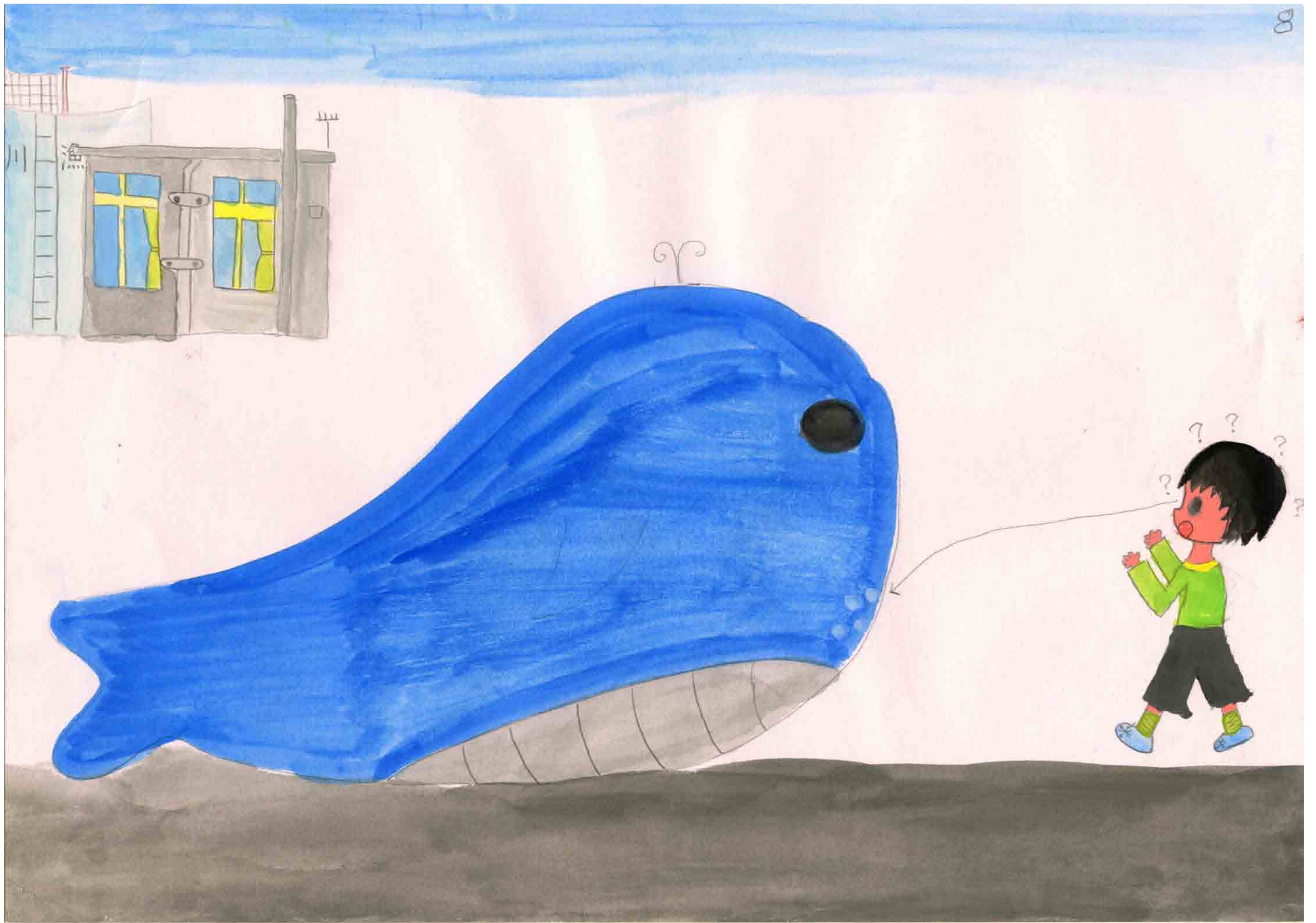
「何だ！ てっげ！ふて〜！

上顎うわあごにならぶコブは何かんしれんねー！？」

そうして、奈須少年は海と魚のとりこになり、もっともっと多くのことを学びたいと思うようになったのでした。

（ゆり）と  
甲斐朱里斗（小）

（ゆり）と  
甲斐朱里斗（小五）  
（小五）和田一希





9 [ 研究をする奈須先生 ]

高校を出て東京の大学に進み、イワシの漁場などについて研究しました。

黒木 紀佳 (小6) 麻緒 (小6)  
すみが坂本まお







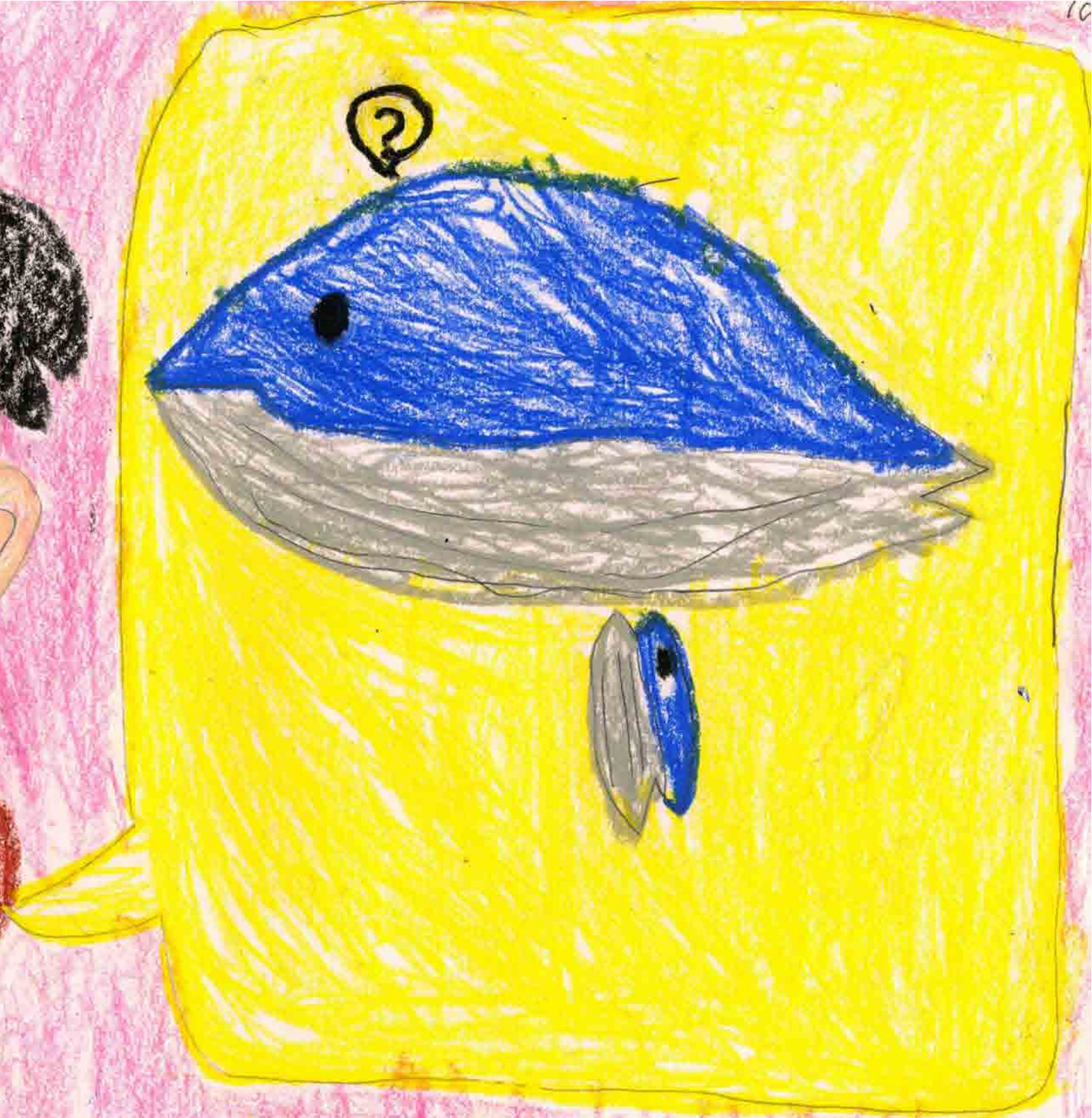
大学を出て<sup>げいるいけんきゅうじょ</sup>鯨類研究所入りました。  
それから、クジラの<sup>かいようかんきょう</sup>海洋環境に関する研究がはじまった。

樋口 ひぐち

美憂 みゆう

近藤 祐未







11 [ 地球儀の上に船を乗せ、それに乗る奈須先生 ]

世界各地の海は、どこでん出かけて調査研究ちようさけんきゆうをおこないました。  
そして、くるしい調査の時は、いつも小さいとき楽しかった門川町の海のことを  
思い出しました。  
すると、みように元気になるのです。

よしか こう